

校長室から

佐世保市立広田中学校

校長 山口 政則



本校着任時に定年退職までの4年間を見据えた経営ビジョンを以下のとおり示しました。

1年目：話題づくり

「保護者・地域で「学校・生徒」が話題になる」  
⇒学校便り、学級便り等での発信

2年目：自慢づくり

「生徒が自慢 教師が自慢」  
⇒生徒の活躍、地域に見える教師の存在

3年目：誇りづくり 「広田中が好き」と言える生徒

⇒学校評価（90%以上が目標）

4年目：伝統づくり 「広田中といえば…」の確立

⇒学力、挨拶、部活動

素直で明るい生徒、協力的で支援を惜しまない保護者や地域の方々のおかげで、手前味噌ではありますが「すばらしい学校」になってきたと思っています。

最終年度を迎え、いよいよ「伝統づくり」の年となります。生徒たちに「広田中といえば・・・」と尋ねると、多くの生徒が「校訓キャラ『広ちゃんズ』」と答えます。これは生徒たちのアイデアから3年前に誕生したもので、すっかり本校の顔ともなっています。また、昨年度から始まった「小中一貫型教育」でも知られるようになりました。小学校6年生だけが中学校舎で学び生活するというめずらしいケースではありましたが、この一年間、中学生がうまくリーダーシップを発揮してくれたおかげで、様々な活動を通して好ましい交流を図ることができました。そのときランドセルを背負って登校していた6年生が、今年は真新しい制服に身を包み凛々しい姿で登校しています。

学習に臨む姿も皆真剣です。部活動や発表会でも全国区での活躍が見られるようになりました。何事にも熱心に取り組み、頑張る生徒たちは我が校の最大の自慢です。こんな生徒たちの姿に応えようと先生方も一生懸命頑張っています。

こんな生徒や教師が揃った今だからこそ、何でもできそうな気がします。

何かしなくてはという気もします。「大胆細心・慣例打破」の姿勢を貫き、さらに特色ある学校づくりを目指します。

平成30年4月1日